

雄武地域マリンビジョン かわら版

このかわら版は、雄武町における水産業を核としたまちづくり（地域マリンビジョン(以下MV)※）について、活動内容を皆様にお知らせするため発行しております。

いよいよ海明け！

1月末から来ていた流氷も少なくなり、いよいよ今月から海明けです。下の写真は2月7日に撮影したのですが、ところどころ接岸していました。3月20日から毛ガニ籠漁がスタートします。



魚田沖流氷写真



幌内沖流氷写真



休漁期間限定 漁港関係紹介コーナー 第1弾

休漁期間となりましたので、期間限定の特設コーナーを作成しました。ここでは、漁業関係者以外の一般の方向けにあまり知られていないような漁港周辺のあれこれをご紹介します。

今回は水温が測れる装置が取り付けられたブイの“ユビキタスブイ”と元稲府漁港の普段の使用状況についてご紹介します。



ユビキタスブイとは、水温などを計測するセンサー、データ送信部、電力源を海洋ブイに設置したものです。また、水温センサーは1つのブイにつき複数の水深の水温が測定できる多層式であるため、多点多層での水温データの取得が可能となっています。

水温のデータは、1時間に1回送信され、通信可能範囲は非常に広範囲なものとなっています。さらに、水温センサーの電力源は、市販の単1電池4本で約1年間連続稼働するそうです。

送信されたデータは公立はこだて未来大学管理のデータベースに集約され、そこから必要な分の情報を取得、WEBサイトやスマートフォン向けアプリに整形し、地元漁師さんに発信されます。元稲府沖・岡に1本ずつ設置されており、稚魚放流の時やホタテ採苗の時など適切な水温で実施できるように役立てられています。

漁港関係紹介コーナー 第2弾

元稲府漁港内では越冬コンブ養殖、サケ稚魚の中間育成等が行われており、漁港外ではコンブの養殖が実施されています。また、二重堤の中はコンブ・ウニの漁業が行われており、ナマコ増養殖は港外にも新しく実施され、元稲府漁港内外を有効に活用しています。



※地域マリンビジョンとは？

北海道開発局においては、明日の活力ある北海道水産業の将来像を「北海道マリンビジョン21」として示しています。雄武町では、「北海道マリンビジョン21」に示された主旨に賛同し、H17年度より「雄武地域マリンビジョン」の検討を進めており、平成19年12月にモデル地域に指定されたところであります。

意見・感想など、ご遠慮なく下記へお寄せ下さい。



年明けから二ヶ月が過ぎました。今月は待ちに待った海明け。毛ガニ漁が始まります。早く美味しい毛ガニが食べたいですね。

【編集・発行】

雄武地域マリンビジョン事務局

【問い合わせ先】

雄武町役場 産業振興課 水産係

Tel 0158-84-2121 Fax 0158-84-2844

mail sangyo@town.oumu.hokkaido.jp